

日中韓合同ワークショップ「福島原発事故に関する諸問題についての若手専門家の展望」の開催の報告

北海道大学大学院保健科学研究院

ふくなが ひさのり
福永 久典

2021年8月27日に日本保健物理学会（JHPS）、中国放射線防護学会（CSRП）、そして韓国放射線防護学会（KARP）による若手世代ネットワーク合同ワークショップが「福島第一原子力発電所事故に関する最近の課題」をテーマとしてオンライン開催されました。当日は日中韓の若手研究者・実務家など50名以上が参加しました。本ワークショップの目的は、(1)アジア地域関連学会の若手放射線防護（RP）コミュニティの連携促進、(2)若手RP専門家同士の知識・情報の共有、(3)福島事故に関する最近のRP問題について議論することでした。保健物理学は放射線被ばくによる健康障害に対する体系的かつ実践的なRPについて調査・研究を行う学術分野であり、JHPSはこの分野におけるわが国の研究者・実務家を中心に設立され、国際放射線防護学会（IRPA）に加盟している学術団体です。私は、このJHPS代表として、“Post-Disaster Health Care: Implications of the 2011 Fukushima Nuclear Accident” というタイトルで福島の被災地医療体制と課題に関する講演を行い、その後の議論にも参加しました。

私はもともと神奈川県出身であり、横浜市立大学医学部卒業後に東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野へ入局し、放射線科医としてのトレーニングを受けました。その後、英国Queen’s University Belfast大学院博士課程に進み、PhDを取得しました。帰国後、東北大学東北メディカル・メガバンク機構を拠点に宮城県太平洋沿岸地域の被災地医療支援に従事してから、2021年に北海道大学へと移りました。専門は放射線生物学・腫瘍学、保健物理学、産業衛生学です。私の研究者としての原点は、東日本大震災・福島原発事故後の公立相馬総合病院（福島県）における被災地医療体験にあるといえます。以降、「放射線被ばくによる健康障害メカニズムの解明と制御」を目指した研究に取り組んできました。

汚染水処理の問題などを含めて福島原発事故後の諸課題については、依然として、韓国、中国の



方々からの関心を集めています。世界各地で原子力発電所が今もなお稼働している限り、福島の悲惨な事故はすでに終わったことではなく、現在進行形の問題を常に提起しているともいえるでしょう。福島から得られた教訓はすでに数多くありますが、今後も調査・研究を継続して行う必要があると各国の研究者も考えています。本ワークショップ開催に際して、私はJHPS担当者から代表に推薦された後、ホストを担当したKARP代表と十分にミーティングを重ねてから当日を迎えたものの、参加者からの鋭い質問の多さには圧倒される思いがしました。これまで私自身は医療従事者としての観点から福島の諸問題を調査・研究することが多かったので、原発事故が我々の社会全体あるいは地球環境に及ぼす広範な影響については専門外であったものの、JHPS代表としてそれらに関する質問への回答を迫られることが多く、自身の不勉強を痛感する機会にもなりました。CSRП代表は「福島は日本の問題ではなく地球の問題である」と述べていました。私も自身の専門

領域に引きこもることなく、さまざまなバックグラウンドを有する研究者らと共にこれからも他流試合を重ねることによって、より多角的な観点からこの世界的問題を検討できるようになりたいと改めて思いました。

近年、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するべきか、官民において盛んに議論されています。言うまでもなく、原子力に代わる持続可能なエネルギー源の開発は急務であり、SDGsの中でも最も重要な目標であるといえます。一方で、今まで原子力発電

の恩恵を受けてきたツケを我々は忘れてはなりません。2020年に放射性廃棄物、いわゆる「核のごみ」の最終処分場の選定をめぐり、寿都町と神恵内村が選定プロセスの文献調査に応募したことで議論が起きました。原子力発電を利用すれば、その廃棄物が生じるのは自明です。果たして、この廃棄物の処理は寿都町と神恵内村だけの問題でしょうか、北海道の問題でしょうか、日本の問題でしょうか、それとも…。いずれにせよ、我々にはより多角的な観点からより多くの議論が必要であり、そこにはきっと福島教訓を活かす余地もあるのではないのでしょうか。

Actions

アクションズ

若手医師活動報告

投稿大募集!!

TEL : 011-231-7661
E-Mail : ihou@m.doui.jp

セミナー



感染症対策



勉強会




各種医療活動




北海道医師会


医師キャリアサポート相談窓口




Career Support




ドクターの人生に寄り添い、
希望にかなう働き方を全力応援!

- 


医師としての復職、
キャリア継続を
めざす方へ

就業・復職
サポート
- 

定年退職後も
生涯現役で
いたい方へ

セカンドキャリア
サポート
- 

仕事と子育ての
両立を
めざす方へ

育児
サポート
- 

家族の介護に
支援を
求める方へ

介護
サポート

ご相談はこちら

0120-112-500 [受付時間 月～金9:00～17:00]

FAX: 011-231-7272 mail: josei-dr-shien@m.doui.jp

◎詳しくは専用ホームページをご覧ください
<http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>
 北海道医師会 医師キャリアサポート相談窓口
 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会

